



私とロータリー

田中 政義(元)東京貿易金属



ロータリークラブをご存知の方は多いと思いますが何をやっている団体なのか分からないと仰る方も多いのではと思います、私のロータリー・ライフを書かせて頂くことにしました。私は26年前、1994年に個人的なお付き合いをしていた東京シティ日本橋ロータリーの大先輩のお薦めでロータリークラブに入会しました。47歳の時だったと記憶しています。まだ東京貿易の部長で忙しい盛りでした。月に何回行けるか分からないけれど「1回5千円の昼飯代」と思って個人的に入会しました。その単純な発想が今日どれだけ私の人生を豊かすることになるかその当時は知る由もありませんでした。

ロータリーに入って東京貿易を卒業するまでは月に1回か2回しか出席できない劣後会員と呼ばれていました。しかしロータリークラブのフラットな組織が好きでした。40歳から80歳までの会員がフラットにお付き合いができ、仕事のしがらみの無いロータリーの親切的な仲間から沢山のアドバイスが頂けました。また自分の好きな奉仕活動をやれることも大きな喜びでした。その上海外駐在の経験がある私にとっては夫婦が同伴で集まる機会が多いロータリーが好きでした。そんなロータリーに魅かれて26年間をロータリアンとして過ごしてきました。

しかし本格的にロータリー活動に取り組んだのはこの4年間です。私の目を覚まさせてくれたのはロータリーの青少年交換留学生です。彼らは「小さな親善大使」と呼ばれ、使命をもって来日してくる15～16歳の子供達であり、世界各国へ派遣される15～16歳の子供達です。その子供達は苦勞をしながら1年間の経験を積み成長します。これからの国際社会を作る青少年に少しでもお役に立ちたいと思って青少年奉仕をベースにロータリー活動をしています。



国際ロータリーの仕組み

それではこれから少し国際ロータリーの仕組みを簡単にご紹介します。まず国際ロータリーの誕生は1905年に弁護士ポール・ハリスと3人の仲間によって「奉仕クラブ」としてシカゴ・ロータリーが創設されました。すでに115年が経過して今や世界に200カ国以上に120万人の会員がいます。日本のロータリーは実業家米山梅吉氏と福島喜三次(三井物産)によって1920年東京ロータリークラブが創立されました。今年で創立100周年になります。日本のロータリーは34地区に分かれ、2254クラブがあり、8万8千人の会員がいます。私がガバナー補佐をしています第2750地区は東京の西半分の地域をカバーし、98クラブが所属しております。また所属会員数も4900人という日本でNO.2の地区です。そして私が担当する銀座・日本橋グループは1000人を超す会員を持つ日本一のグループです。

世界に良いことをしよう

～ロータリーは世界最大の奉仕団体です～

それではどんなことをロータリーはしているのかについてお話をします。ロータリーは世界最大の奉仕団体です。国際ロータリーの最大の奉仕活動は「ポリオの根絶」です。ポリオとは小児麻痺です。活動の結果、ポリオ患者はパキスタン、アフガニスタン等で20名ほどまで減少し、根絶に後一步の所です。

この目標達成のためにビル・ゲーツと手を組んで活動をしています。その奉仕活動の達成のために集めた寄付金は16億ドル(1800億円)です。その寄付金によってポリオワクチンの接種を受けた子供達は世界中で25億人になります。ロータリーは一生懸命に働いて稼いだお金を寄付して沢山の人間を助けたいという気持ちを持った人の集まりです。

ロータリーの奉仕活動は5大奉仕と言われるクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕から成り立っています。自分の好きな奉仕活動を選んで実行します。私は国際的な活動が好きで青少年奉仕を軸足を

置いて活動をしています。

タイの交換留学生在が繋ぐタイ国との友好の絆

自分の子供の教育は全くやれませんでしたでしたが今は世界中の子供達を世話することに喜びと感じています。青少年交換留學生のカウンセラーやホストファミリーをやり子供達の成長の素晴らしさを知りました。

2015年～16年にタイ国のロブリー・ロータリークラブより派遣されたビューちゃんという来日生のカウンセラーをやりました。とても素直で頭の良い子でした。来日時は全く日本語を書くことも話すことも出来ませんでした。来日生は毎月レポートを提出しますが日本語のボキャブラリが増え、成長が手に取るようになります。1年経つと流暢な日本語を話し、「立派な親善大使」に成長して行きます。すっかりビューちゃんファンになった私は帰国後ビューちゃんが育ったロブリーのロータリークラブと友好関係を作ろうと思い、2年後ロブリー・ロータリークラブと姉妹クラブの締結をします。

その式典でもビューちゃんは日本とタイを結ぶ「親善大使」として立派な通訳をやるまでに育ちました。ビューちゃんは現在タイで2番目に優秀とされるタマサート大学に通っていますが来年は卒業します。本人は日本に留学することを望んでいるようです。



自クラブは2018～19年にビューちゃんの妹のワオちゃんをホストクラブとして預かり又カウンセラーの任務を与えられました。またホストファミリーも4カ月やりました。

ワオちゃんはお姉さんに負けない頭の良さで、青山学院高等部の優等生でした。1年余りで習字や日本文化を習得しました。

私達はビューちゃん、ワオちゃんを交換留學生として迎え入れなかったらタイ国にロブリーという町がある

ことさえ知らなかったと思います。昨年末我がクラブ15名でロブリーを訪ねました。大歓迎を受けました。二人の留學生姉妹は流暢な日本語で司会を務め歓迎宴を盛り上げました。立派に育ったタイの二人の娘はきっと将来タイと日本の懸け橋として活躍してくれると確信しています。



青少年交換留學生制度の他に日本のロータリー独特の活動として米山奨学金制度があります。日本のロータリーの創設者米山梅吉翁の名前を取って1965年より開始された外国人留學生を対象とした奨学金制度ですが60年に亘ってロータリーがやってきた奉仕活動です。ロータリアンからの集めた寄付金年間14億円の事業費で毎年850名以上の外国人留學生に奨学金を寄贈しています。今までに支援した留學生の累計は2万人を越えて日本最大の民間奨学金制度です。

ロータリー活動

～充実したロータリー活動～

この4年間のロータリー活動は目が回るほど忙しくもあり、充実した日々でした。何故忙しいか？ロータリーの役職は単年度制で1年限りです。1年間で成果を上げることは並たいていこのことではできません。また組織もフラットですから部下はいません。

現役引退後まず国際ロータリーの世界大会に毎年出席し世界のロータリーの状況を勉強させて貰いました。2016年ソウル、2017年アトランタ、2018年トロント、2019年ハンブルグ全て参加しました。世界から4～5万人が集まってきます。開催地がロータリー一色になります。お祭りです。そして「又来年も会おうね」と言いながら別れて行きます。オリンピックと似ています。世界に多くの仲間ができました。

ロータリーの毎週の例会は12時30分から13時30分までですが13時からの30分はいろいろな講師から卓話をお伺いします。卓話の充実がロータリーの価値を決めます。お陰様で三村日本製鉄名誉会長にも卓話をお願いし、大変評判になりました。

地域貢献としては日本橋中学校で夢を叶える講演会を行いました。日本オリンピック委員会の竹田前会長とリオ・オリンピック400メートルリレー銀メダリストの飯塚翔太選手の講演で全校生徒430名に感動を与えることが出来ました。日本橋中学校への支援活動は毎年続けております。

私とロータリー

～ロータリーは一生もの～

そして2019-20年度のガバナー補佐を仰せつかり2019年7月から任務がスタートしました。私が一番やりたかったことはやや風土が違う銀座と日本橋の11クラブが連帯感を持ってロータリー活動を行うことです。即ちお互いに助け合いながら銀座・日本橋グループ11ロータリークラブ全体で地域社会に貢献することとを願っていました。

その連帯感を作ることに寄与したのがインターシティ・ミーティング(通称IM)の開催でした。IMによってロータリーの活動を地域社会にも知って貰い、公共イメージの向上を図る試みです。1000名のグループ会員が一同に会する機会はIMしかありません。私はこのIMを連帯感を作る為の大きなチャンスと捉えて、11クラブから推薦された11名の若手IM委員の力を結集してワンチームを作り、11月18日のIMを600人の参加者を得て、成功させることが出来ました。

今回のIMはテーマを「人類の未来のために繋がろう」としました。講師にも恵まれました。親友の日清食品ホールディングスの安藤宏基社長兼CEOが国連世界食糧計画WFP協会の会長をして飢餓ゼロを目指す活動をしておられことから、ロータリーが目指す「ポリオ根絶」

とタイアップすれば素晴らしい講演会が出来ると思いました。

丁度本年度の国際ロータリーのマロニー会長は国連と関係強化する方針を出していました。国連とロータリーが繋がったのです。その上に竹下景子様がWFPの親善大使をされていることから出演して頂き大きな反響を頂きました。

顔も知らない11クラブのIM委員がロータリーの旗印の下に集まり、半年間四苦八苦しながら手作りで作上げたイベントでした。若い仲間と助け合い、ワイワイガヤガヤやりながら600名の参加者を集め、通年の30%の費用で目的を達成しました。もう既に11クラブのIM委員は大きな絆の輪の中にいます。きっと彼ら若い人が将来のロータリーを作っていくと確信しています。

今回の活動の中で沢山の友達を得ました。若い人もベテランも男女問わずすべてが仲間になれる喜びを感じました。未だ3カ月ガバナー補佐の仕事が残っていますが11クラブの仲間たちを信じ、助け合いながらそれぞれのクラブの活動が成功するように支援して行きたいと考えています。もう既に連帯の土俵は出来たと思っています。

今年の世界大会がハワイで行われ4万人以上のロータリアンが世界中から集まってきました。またオリンピックが終わった今秋日本ロータリー100周年が行われます。いろいろな行事が行われますがロータリーの精神は「世界に良いことをしよう」という奉仕の精神です。

(田中 政義・記)

